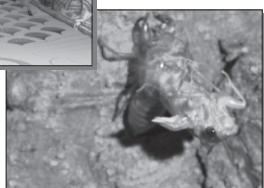


# News Clip & AV Material

## ◆ ニュースクリップ&映像教材



昨年の文部科学大臣賞（最優秀賞）から

### ■平成23年度全国自作視聴覚教材コンクールに103作品が応募

（財）日本視聴覚教育協会主催、文部科学省後援による標記コンクールの今年度の参加作品は、103作品。内訳は、小学校部門（幼稚園を含む）37作品 中学校部門15作品 高等学校部門2作品 社会教育部門49作品。8月中旬に審査が行われ、本誌9月号上で発表、表彰式および上映会は、平成23年10月14日（金）、東海大学校友会館（千代田区霞が関3-2-5）において行われる。

## 文部科学省情報

### ■平成23年度「子ども霞が関見学デー」実施

「子ども霞が関見学デー」は、子どもたちが親の職場を見学すること等を通して、親子のふれあいを深め、広く社会を知る機会とするため、文部科学省を中心に始まった取組であり、各府省庁等が職場見学や業務説明等を実施する他、今年度は防災・環境・エネルギーについて考える契機となる取組を積極的に実施する。

〈日程〉平成23年8月17日（水）・18日（木）

〈対象〉全国の小・中学生（原則として保護者同伴）

〈内容〉24府省庁（内閣府・文部科学省・総務省・財務省・警察庁他）ごとの特色を生かし、子どもたちを対象に、さまざまプログラムを一斉に実施。

当日は、子どもたちの興味にあわせて霞が関を自由に歩くことができるよう、参加者には各府省庁等のプログラムと地図が入った「子ども見学パスポート」を配布。

〈参加申し込み〉事前申し込みが必要なプログラムと、当日でも参加できるプログラムがあるので、詳細は、文部科学省のホームページにて確認。

<http://www.mext.go.jp/>

〈問い合わせ先〉文部科学省生涯学習政策局生涯学習推進課 TEL 03-6734-2092

## AV情報

### ■第2回国際科学映像祭

良質な科学映像コンテンツを広く紹介し、あわせてコンテンツや技術開発に関わる人々の情報交換及び科学映像クリエイターの発表の場として、第2回国際科学映像祭実行委員会主催により、標記映像祭が開催される。

〈日程〉平成23年8月10日（水）～10月2日（日）の53日間。会場により、日程は異なる。

〈場所〉関東一円、科学館・プラネタリウム館、シアターなど。

〈料金〉各会場の入館料

〈内容〉科学映像上映、スタンプラリー、サイエンスフィルムカフェ&ワークショップ、ドームフェスタ—Science&Art—、3Dフェスタ等。詳細は、下記を参照のこと。

<http://image.sci-fest.net/index.html>

## トピックス

## 「5分できる 著作権教育」(Web教材)

(社)日本教育工学会振興会は(社)著作権情報センターとともに、文化庁長官官房著作権課の協力により、標記サイトを立ちあげ、小学校、中学校、高等学校での著作権教育のためのWeb教材を提供している。

本教材の特長は、

1. 特別な時間枠を設定せず、教科の授業の中の5分程度で、著作権教育に取り組める。

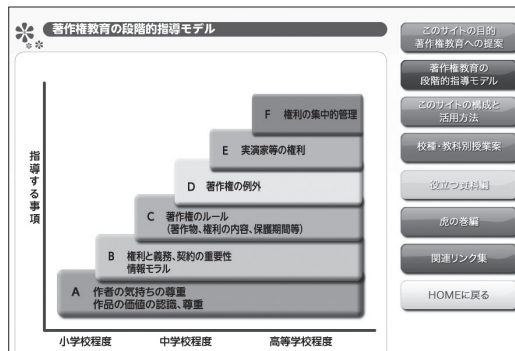
学校教育段階で考えられる著作権についての指導事項をピックアップし、指導場面をイメージしやすい事例集にまとめ、わずかな時間で著作権に関する関心を高められるように構成。

2. 校種別・教科別に分けた授業事例案を用意し、事前準備も簡単。

著作権教育の全体像とその事例の位置づけが把握できるよう、新しく「段階的指導モデル」を提示(図)。

3. 授業事例案に関連した「資料編」や、もっと

図・著作権教育の段階的指導モデル



詳しく知りたい方のための「虎の巻編」も作成。

指導の過程で必要な資料を紹介する「資料編」、先生の下調べに役立つ「虎の巻編」となっている。

4. 概要を紹介した小冊子も用意。

本教材や詳細は、下記を参照のこと。

<http://chosakuken.jp/>

(問い合わせ) (社)日本教育工学会

TEL 03-5575-5365 info@japet.or.jp

(問い合わせ先) 自然科学研究機構国立天文台天文情報センター内国際科学映像祭実行委員会事務局  
TEL 0422-34-3802 (受付時間平日10:00~17:00)

### ■ 第19回キンダー・フィルム・フェスティバル

日本唯一の子どもたちの標記世界映画祭が、キンダー・フィルム主催により、開催される。

(日程・会場) 平成23年8月12日(金)・13日(土) 日比谷公会堂(東京都千代田区日比谷公園1-3)、同18日(木)~21日(日) 調布市文化会館たづくり(東京都調布市小島町2-33-1)

(内容) 世界最大の子ども映画祭「キンダーフィルムフェスト・ベルリン」から一押しの映画を日本初上映。声優たちのライブ吹き替え上映、映画作り体験ワークショップ、声優体験ワークショップなど。詳細は、下記を参照のこと。

<http://www.kinder.co.jp/>

(問い合わせ先) 一般社団法人キンダー・フィルム TEL 03-5355-1225

## 研究会情報

### ■ 日本教育情報学会第27回年会

日本教育情報学会では、「教育情報のイノベー

ション—デジタル世代をどう導くか—」をテーマに、標記年会を開催する。

(日時) 平成23年8月20日(土)・21日(日) 10:00~17:15。21日は17:40まで。(受付開始9:30~)

(会場) 十文字学園女子大学(埼玉県新座市菅沢2-1-28)

(内容) 特別課題「東日本大震災を通して災害記録を考える」、基調講演「博物館の魅力を高める情報化」講演 佐々木正峰氏(国立科学博物館顧問、元文化庁長官)、シンポジウム「学校現場の情報化をどのように推進し支援するか」コーディネーター 堀田龍也氏(玉川大学教職大学院・教授)、課題研究(教育資料・教材と図書館の役割(含む著作権)/デジタル・アーカイブの新しい展開と今後の課題等)、一般研究(初中等教育の情報教育/高等教育の情報教育/システム開発/教材開発等)

(参加費) 4,000円(会員当日・非会員)。詳細および参加登録は、下記を参照のこと。

<http://www.jumonji-u.ac.jp/nenkai27/>

(問い合わせ先) 日本教育情報学会第27回年会実行委員会・十文字学園女子大学人間生活学部安達研究室内 TEL 048-260-7657

## コンクール情報

### ■ 平成23年度〔第15回〕文化庁メディア芸術祭作品募集

メディア芸術の創造と、その発展を図ることを目的に、文化庁メディア芸術祭実行委員会（文化庁他）は、標記芸術祭開催にあたり、各部門における作品を募集している。

〈募集部門〉 ○アート部門 ○エンターテインメント部門 ○アニメーション部門 ○マンガ部門  
〈応募条件〉 平成22年9月25日から平成23年9月22日までの間に完成、または発表された作品が対象。詳細は、下記を参照のこと。

<http://bunka-jmaf.jp/>

〈募集期間〉 平成23年9月22日（木）必着。

〈各賞・贈呈式〉 部門ごとに、大賞（文部科学大臣賞）1作品、優秀賞4作品、新人賞3作品等を選定。各賞に、賞状、トロフィー、副賞を贈呈。受賞発表は、各メディアを通して、平成23年12月に発表を予定。受賞者に、直接連絡。平成24年2月21日（火）贈呈式。受賞作品展は、平成24年2月22日（水）～3月4日（日）国立新美術館（東京都港区六本木7-22-2）において開催予定。〈問い合わせ・作品の送付先〉 文化庁メディア芸術祭事務局（財）NHKインターナショナル内 〒150-0042 東京都渋谷区宇田川町7-13 第二共同ビル6F TEL 03-6415-8500

### ■ 「市民がつくるTVF2012」映像作品募集

NPO法人市民がつくるTVF主催による「市民がつくるTVF2012」では、市民がつくる映像作品を募集している。

〈募集作品〉 テーマ・題材は自由。20分以内のビデオ作品。プロ・アマ・年齢・国籍は問わない。〈応募方法〉 DVDまたはミニDVに作品を記録し、所定の応募申込票に必要事項を記入のうえ、参加協力費として1作品につき、1,000円切手を同封して郵送。応募申込票は、ウェブサイトからダウンロード可能。他詳細は、下記を参照のこと。

<http://tvf2010.org/>

〈応募締切〉 平成23年9月30日（金）当日消印有効。〈賞〉 ビデオ大賞1本（賞状・トロフィー）、優秀作品賞15本（賞状・楯）、佳作15本（賞状・楯）、筑紫哲也賞1本（賞状・楯）他。発表は、平成24年2月中旬を予定。

〈問い合わせ先〉 NPO法人市民がつくるTVF  
TEL 03-6404-6613

## 文部科学省選定作品

### ■ 6月選定 〔紙〕紙しばい／〔ビ〕ビデオ／〔D〕DVD

「はい、タッチ」〔紙〕8枚〈幼稚園／幼児、教養〉（株）童心社

「LONGER」〔D〕89分〈幼児、教養・情操（自然科学）〉（株）ビーシーシー

「よみがえる琉球芸能 江戸上り」〔D〕69分〈少年・青年・成人、教養〉（株）シネマ沖縄

「長靴をはいた獅子たち」〔D〕145分〈成人、教養〉（有）ランドスケープ

## 放送番組

### 中学生日記

（金）19:25～19:55／NHK教育 全国

（土）9:30～10:00／再放送 NHK総合 中部7県

（土）12:30～13:00／再放送 NHK教育 全国（除く中部7県）

※番組内容が変更となる場合があります。

■5日 中学生日記50年アンコール「闘争宣言」（1978年2月26日放送分）

■12日 中学生日記50年アンコール「緑のトンネル」（1977年9月25日放送分）

■19日 中学生日記50年アンコール「もう一つの3年A組」（1979年4月29日放送分）

■26日 シリーズ転校生(1)「“被災者”と呼ばれて」（仮）

## 短信

### ■ 文部科学省生涯学習政策局参事官付の異動

平成23年7月1日付

○情報政策室長 増子則義氏→外務省（平成23年7月15日付在ドイツ大使館一等書記官就任）

平成23年7月15日付

○参事官 齋藤晴加氏→総務省総合通信基盤局電気通信事業部データ通信課長（併）情報通信国際戦略局参事官  
○総務省情報流通行政局情報通信作品振興課長 新井孝雄氏→参事官  
○スポーツ・青少年局スポーツ振興課課長補佐（併）スポーツ指導専門官 伊藤賢氏→情報政策室長心得